



市役所議場付近に点字ブロック設置を



創世会
松本均

Q 開かれた議会を目指し、市役所内議場付近までの、点字ブロックを設置し、視覚障がい者等の議会傍聴を、安全で安心できるようにできないか伺う。

点字ブロックなどの施設整備等を検討する

A 議場付近の障がい者への対応については、点字ブロックなどの施設整備のほか、職員などの介助について併せて検討していきます。



ひきこもり、不登校担当課の設置を

Q 今後大きな社会問題となりうる、不登校やひきこもりについて、市役所内に専門的に対応できる、担当課を設置できないか伺う。

相談しやすい体制を検討していく

A 健康福祉部、教育部、こども希望部の関係部署が集まり、今後の連携体制やひきこもり対策にかかる協議を行っています。ひきこもりの方やそのご家族がどういう形であれば一番相談しやすい体制となるのか、検討していきます。



創世会
寺田幸弘

横須賀高校は必ず存続させる

Q 県教育委員会は、昨年3月横須賀高校と池新田高校を令和8年度(2026年度)を目途に、新構想高等学校に改編統合することを正式に公表した。横須賀高校は絶対存続させなければいけない。今後の市の対応について伺う。

横須賀高校の存続を強く求めていく

A 両校の改編そのものに反対の立場であり、これまで川勝知事、木苗教育長をはじめ各方面に面会し、横須賀高校の存続をお願いしてきています。横須賀高校が、真に魅力ある高校として存続するよう、引き続き、県教育委員会に強く要望していきます。

海岸防災林強化事業の整備状況は

Q 津波対策として、平成26年から始まった遠州灘海岸の防潮堤建設事業は本市の防潮堤完成までに12年かかる予定である。計画通りの進捗状況であるのかを伺う。

若干計画より遅れている

A 平成27年度に策定した「掛川モデル基本計画」では今年度末の進捗率を40%に設定しています。しかし、昨年度から本年度にかけて予定していた「関東地方整備局管内の道路事業で発生する土砂」などの受入が不可能となったことにより、今年度末進捗率の見込みは36.9%と若干計画よりも低い状況となっています。



地域の方々が集う横須賀高校